

二次医療圏別医師偏在指標（R8.4国公表）

	医師偏在指標	全国順位 (330医療圏)	区域※	参考（前回計画策定時提示（R5年度））		
				医師偏在指標	全国順位	区域
全国値	266.8	—	—	255.6	—	—
豊能	374.2	13	医師多数区域	350.7	14	医師多数区域
三島	287.5	58	医師多数区域	277.5	53	医師多数区域
北河内	249.6	87	医師多数区域	232.4	91	医師多数区域
中河内	240.5	101	医師多数区域	205.5	140	（医師中位）
南河内	296.7	48	医師多数区域	286.0	48	医師多数区域
堺市	230.6	118	（医師中位）	225.6	95	医師多数区域
泉州	227.0	122	（医師中位）	218.8	108	医師多数区域
大阪市	347.7	22	医師多数区域	369.0	10	医師多数区域

※全国330二次医療圏のうち、上位33.3%を医師多数区域、下位33.3%を医師少数区域に区分

※網掛け部分は、医師偏在指標が全国値未満の二次医療圏

＜新たな医師偏在指標の課題＞

国が新たに示した医師偏在指標は、R6年医師・歯科医師・薬剤師統計をもとに算出されているため、R7年11月に南河内医療圏から堺市医療圏に移転した近畿大学病院のデータが反映されておらず、実態と大幅に乖離した指標となっている。

■ 参考

南河内医療圏医療施設従事医師数：1,821人※1

近畿大学病院医師数（常勤）：521人※2

近畿大学病院医師数（非常勤）：252人※2

※1：R6医師・歯科医師・薬剤師統計データ

※2：近畿大学病院公表データ（R7.11時点）

地域の実情を反映するため、以下の要素等を用いて府独自の医師偏在指標の分析を行う。

- ・ 近畿大学病院の移転による医師数等の変動
- ・ 大学病院医師数、医療アクセス等に関するデータ